

**製品名: Flg (リン酸化 Tyr766) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04675**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	full length 120-140kDa,FOP-FGFR1 90kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FGFR1 BFGFR CEK FGFBR FLG FLT2 HBGFR FGFR1; BFGFR; CEK; FGFBR; FLG; FLT2; HBGFR; Fibroblast growth factor receptor 1; FGFR-1;
別名	Basic fibroblast growth factor receptor 1; BFGFR; bFGF-R-1; Fms-like tyrosine kinase 2; FLT-2; N-sam; Proto-oncogene c-Fgr; CD antigen CD331
遺伝子 ID	2260.0
SwissProt ID	P11362
免疫原	抗血清は、ヒト FGFR1 の Tyr766 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 736-785

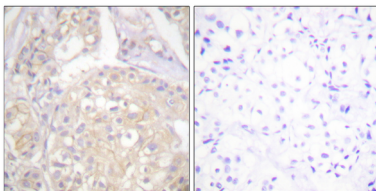
## 背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は線維芽細胞増殖因子受容体 (FGFR) ファミリーのメンバーであり、アミノ酸配列はメンバー間および進化を通じて高度に保存されています。FGFR ファミリーのメンバーは、リガンド親和性と組織分布において互いに異なります。代表的な全長タンパク質は、3つの免疫グロブリン様ドメイン、1つの疎水性膜貫通セグメント、および細胞質チロシンキナーゼドメインからなる細胞外領域で構成されています。このタンパク質の細胞外部分は線維芽細胞増殖因子と相互作用し、下流のシグナル伝達経路を活性化させ、最終的には有糸分裂誘発と分化に影響を与えます。

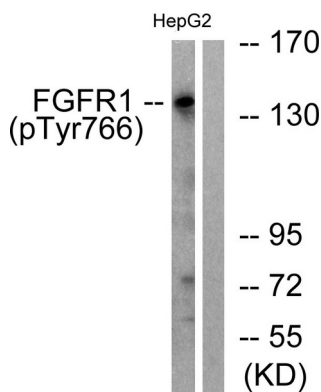
## 研究分野

MAPK\_ERK\_Growth;MAPK\_G\_Protein;Adherens\_Junction;アクチンと細胞骨格を制御;がんにおける経路;前立腺がん;黒色腫;

## 画像データ



FGFR1 (リン酸化 Tyr766) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



EGF 200 ng/ml 30分処理した HepG2 細胞ライセートの FGFR1 (リン酸化 Tyr766) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。